

機構の活動 平成27年1月から
平成27年3月まで



**函館国際水産・海洋都市構想シンポジウム
 ー海洋エネルギー利用開発の現状と可能性ー 開催 H27.2.24**

函館国際水産・海洋都市構想シンポジウムを函館市国際水産・海洋総合研究センターで開催しました。

本年度のシンポジウムは、現在函館市において、津軽海峡の強い潮流による海洋エネルギーの利用に関する検討を進めていることから、「海洋エネルギー利用開発の現状と可能性」をテーマとして、国内外の海洋エネルギー利用開発に関する最新事例について理解を深めるとともに、津軽海峡における海洋エネルギー利用に向けた可能性について考えることを目的として開催しました。



基調講演 経塚 雄策 氏

基調講演では、九州大学大学院総合理工学研究院 経塚雄策教授より「国内外の潮流発電に関する研究開発動向について」と題して、国内外における潮流発電の概要や、自身が関わっている国内の潮流発電プロジェクトの研究内容、潮流発電の特徴などについて講演を頂きました。

続いて、一般社団法人海洋産業研究会 中原裕幸常務理事より「海洋エネルギー利用と漁業協調について」と題して、漁業協調の在り方に関する提言や漁業協調メニューについて講演を頂きました。



講演 井川 吉幸 氏

次に、先進事例として、長崎県五島市再生可能エネルギー推進室 井川吉幸室長より「離島振興策・地域の特性を活かした再生可能エネルギーによる島づくり」と題して、五島市における取り組みの概要のほか、産学官連携とともに地元住民や漁業者の理解と支援を受け、地域が一体となって事業を推進している状況について講演を頂きました。

また、函館工業高等専門学校 宮武誠准教授、剣地利昭助教より「津軽海峡に適した小規模潮流発電装置の研究開発について」と題して、これまでの調査結果や小規模潮流発電装置の開発実験の状況について講演を頂きました。



パネルディスカッションの様子

そして、函館市企画部 谷口諭部長より「函館市の海洋エネルギー利用に関する取り組みについて」と題して、函館国際水産・海洋都市構想の概要や海洋エネルギー利用に関する基本的な考

え方について講演を頂きました。

最後に、「津軽海峡における海洋エネルギー利用の可能性について」と題して、講師の皆さんに戸井漁業協同組合 森祐代表理事組合長も加わり、パネルディスカッションも行われ、今後の海洋エネルギー利用開発に向けて、それぞれの立場から活発な議論が展開されました。

本シンポジウムには、120名を超える参加があり、海洋エネルギーに対する関心の高さがうかがえるシンポジウムとなりました。

平成26年度 第3回 理事会 開催

H27.2.10



理事会の様子

平成26年度第3回理事会を、函館市国際水産・海洋総合研究センターにて開催しました。

石尾清広代表理事を議長とし、議案第1号 平成27年度事業計画案について、議案第2号 平成27年度収支予算案について審議が行われ、すべての議案について意義なく原案通り承認されました。

また、平成26年6月に供用開始となった函館市国際水産・海洋総合研究センターにおける施設使用状況、および活動内容について、事務局より報告を行いました。

地域の活動

平成27年01月から
平成27年03月まで



科学祭2015キックオフ 実施

H27.1.25

サイエンス・サポート函館/サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊の共催で、科学祭2015キックオフが函館市地域交流まちづくりセンターの2階オープンスペースで開催され、科学祭に関心のある市民や関係者約40名が集まりました。今年のはこだて国際科学祭2015のテーマは「環境」。キックオフイベントでは、今一度、科学祭の生み出す価値や目指すべき方向性を考えるとともに、科学祭でやってみたいアイデアを共有することを目的として、2つのプログラムを実施しました。



トークセッションの様子

科学祭ビデオ上映+トークセッションは、5人の話題提供者が科学祭に対する思いやアイデアを話すことで、「科学祭はどんな催しか」「科学祭を通してどんな“はこだて”にしていきたいか」について、会場全体で考えるウォーミングアップの時間となりました。

その後の交流・アイデア共有のワークショップでは、当機構の産学官連携コーディネーターが進行役を務め、「環境がテーマの科学祭でどんなことをしてみたいか」について、会場全体でアイデアを共有しました。

今年で7回目となる、はこだて国際科学祭は8月22日～30日の間、五稜郭タワー他会場で開催予定です。

「海のナビゲーター」・「海のプロデューサー」人材養成プログラム

『北海道大学の練習船のすべて！』

～練習船の顔、研究船の顔・将来の研究～ 開催

H27.1.10

北海道大学大学院水産科学研究院が実施する「海のナビゲーター」・「海のプロデューサー」人材養成プログラムが行われ、その一部として『北海道大学の練習船のすべて！』～練習船の顔、研究船の顔・将来の研究～と題した講演が、函館市国際水産・海洋総合研究センターにおいて一般公開されました。

同プログラムは、北海道大学大学院水産科学研究院と函館市が共同で進めてきた、文部科学省の「新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成」（平成21年度～25年度）で構築したシステムを最大限活用して、21世紀津軽海峡文化圏の産学官連携強化に関わる科学・技術・文化・産業などの特徴を基盤にした産学官民連携の地域課題解決型の人材養成プログラムとして今年度から開始されました。

「海のナビゲーター」は、海に関わる様々なワークショップ、フォーラム、講演等に参加して道南地域の課題解決に向けた計画案や建設的提言を行える人材を、また「海のプロデューサー」は、「新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成」で養成した「水産・海洋コーディネーター」を対象にフォーラム、講演会、新規プロジェクトなどに実質的に参加し、優れた企画・運営を行える強化型の人材の養成を目指しています。



練習船「おしよる丸」

当日は一般市民約80名が来場し、明治42年に竣工し現在まで105年に渡り北海道大学において活躍しつづけている練習船おしよる丸、そして昭和46年に竣工されたうしお丸、各船の活躍の様子や航海での生活、練習船を活用した研究や将来の展望について、貴重なお話を聴くことができました。

当日は一般市民約80名が来場し、明治42年に竣工し現在まで105年に渡り北海道大学において活躍しつづけている練習船おしよる丸、そして昭和46年に竣工されたうしお丸、各船の活躍の様子や航海での生活、練習船を活用した研究や将来の展望について、貴重なお話を聴くことができました。



講演の様子

第45回北洋研究シンポジウム

－北海道周辺海域における最近の気象・海洋環境変化と海洋生物の動向－ 開催

H27.3.6-7

水産海洋学会並びに北海道大学大学院水産科学研究院の共催により、第45回北洋研究シンポジウム－北海道周辺海域における最近の気象・海洋環境変化と海洋生物の動向－が2日間に渡り函館市国際水産・海洋総合研究センターで開催され、約50名の参加がありました。

本シンポジウムでは、北海道を取り巻く海洋生態系に何が起きているのか、気象の変化や海洋環境の変化と海洋生物の動向について、道内外の研究者28名から発表があり、今後の方向性を考える重要なシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子

函館市国際水産・海洋総合研究センターにおいて、平成26年度北海道高等学校理科教育研究会研究部生物研究委員会第2回研究協議会が開催されました。北海道高等学校理科教育研究会（北理研）は、全道の公私立高校の理科教員・実習助手等で構成され、「分かる授業を構築するための基本的な指導方法などを、伝統芸能のように先輩教員から若い教員に確実に受け継いでいくこと」、「時代に応じた新しい指導方法を研究し普及すること」を役割として、理科教育の充実・発展に大きく寄与されてきた組織です。



山本潤助教による講義の様子

1日目は、当機構の産学官連携コーディネーターから函館国際水産・海洋都市構想の概要と、その中核拠点としてのセンターの機能や役割を説明しました。その後、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 山本潤助教より、イカの生態、形態、進化との関わりについて詳細に、かつ笑いが度々起こる楽しく和気あいあいとした雰囲気の中で講義と解剖実習が行われました。



阿部拓三助教による講義の様子

2日目は、北海道大学水産学部 阿部拓三助教より、海洋教育への取り組みに関して、これまでの実績と今後の展望について講義が行われました。当日の新聞には、阿部助教が「3種類のダンゴウオが同種だったこと」を発見した功績が掲載されていたこともあり、「時の人」として北理研の先生方も大いに盛り上がりました。最後に、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 宮下和士教授より、バイオロギングの最前線とその装置や方法について講義が行われました。

両日とも32名の先生が参加され、「海の恵みについて見識を深めるとともに、授業における海洋教育の重要性について再認識した」との感想をいただきました。また研修後も、イカの解剖実習に関わる内容や、イカの食品加工に関する出前授業のお問合せもいただき、今後も北理研様と当センターが連携していくきっかけとなる研修となりました。



宮下和士教授による講義の様子



発行：一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構

Newsletter 第35号

平成27年3月20日（金）発行

〒040-0051 北海道函館市弁天町20番5号

函館市国際水産・海洋総合研究センター内

TEL : 0138-21-4700 FAX : 0138-21-4601

E-mail: office@marine-hakodate.jp URL: http://www.marine-hakodate.jp/

Newsletter に関するお問い合わせは、推進機構までお願い致します。

